

第97回日本産業衛生学会

働き世代の健康データ分析による 健康経営の推進策

(OL 34-3)

山口 真寛 北島 宏樹

全国健康保険協会 京都支部

第97回日本産業衛生学会 COI開示

発表者： 山口 真寛 北島 宏樹

演題発表に関連し、発表者らに開示すべき
COI関係にある企業などはありません。

【背景・目的】

- ✓ 協会けんぽでは加入事業所の健康経営の推進のため、事業主とのコラボヘルス『健康宣言事業』を推進している。
- ✓ 協会けんぽに加入する多くの中小企業は、様々な業態、働き方の事業所が存在しており、働き方の違いによる業態特有の健康課題があると考えられる。そのため、健康経営の取組内容も働き方や業態に合わせて実行することで効果的な取り組みに繋がると考えられる。
- ✓ 協会けんぽ加入者の特徴である、働き世代の「様々な業態」に着目した健康経営の推進のために、健診データ等の分析により業態別の健康課題を見える化し取りまとめた情報発信ツール「京都働き世代の健康データブック」を作成した。
- ✓ 当発表では「京都働き世代の健康データブック」に収録した業態別の分析結果を報告する。

【使用データ】

- ✓ 健診・問診データについては、2022年度の40歳以上の被保険者、約22万人分。
- ✓ 医療費データについては、2021年度の被保険者、医科（入院・入院外（調剤含む））、約52万人分。

【分析方法】

- ✓ 健診項目はメタボ、血圧、代謝、脂質リスクの4項目、問診項目は標準的な質問票項目のうち、運動習慣、食習慣、飲酒、睡眠習慣のうち10項目、それぞれを従属変数として、業態・年齢を独立変数として男女別にロジスティック回帰分析（SPSS Statistics Ver26）を行い、業態別（日本標準産業分類大分類）にオッズ比及び95%信頼区間を算出した。
- ✓ 医療費は社会保険表章用疾病分類のうち、生活習慣病（糖尿病、脂質異常症、高血圧性疾患、虚血性心疾患、くも膜下出血、脳内出血、脳梗塞、脳動脈硬化症、動脈硬化症、腎不全）を対象とし、京都支部被保険者の年齢構成を基準に調整し、一人当たり医療費（入院、入院外（調剤含む））を算出した。

【業態別被保険者数、健診受診者数】

業態名（大分類）	男性_被保険者数					女性_被保険者数				
		40歳以上	健診受診者数	平均年齢	標準偏差		40歳以上	健診受診者数	平均年齢	標準偏差
農業、林業	1,887	1,181	673	54.59	9.585	764	468	253	55.28	9.232
鉱業、採石業、砂利採取業	303	263	175	55.01	8.150	64	57	36	54.12	7.810
建設業	29,672	20,652	12,084	54.05	8.907	6,551	4,662	2,447	53.88	8.839
製造業	76,545	52,014	40,134	52.81	8.367	34,426	21,534	15,215	52.76	8.321
電気・ガス・熱供給・水道業	1,591	1,219	909	54.49	8.988	665	455	307	54.00	8.551
情報通信業	6,832	4,118	2,754	50.84	7.907	3,553	1,464	877	50.04	7.919
運輸業、郵便業	27,233	22,200	15,881	55.32	8.601	4,467	3,129	2,036	52.87	7.640
卸売業、小売業	47,486	32,742	21,591	53.61	8.866	34,670	21,542	13,702	53.18	8.495
金融業、保険業	1,428	1,126	667	54.70	8.663	957	661	433	52.11	7.526
不動産業、物品賃貸業	10,593	7,508	3,795	56.13	9.985	8,077	5,228	2,206	55.51	9.310
学術研究、専門・技術サービス業	11,881	8,018	4,506	53.80	9.273	9,038	5,009	2,737	51.11	7.833
宿泊業、飲食サービス業	11,885	7,062	3,165	52.52	8.760	7,915	4,204	1,904	53.22	8.940
生活関連サービス業、娯楽業	7,930	4,537	2,619	52.53	9.027	7,870	3,474	1,807	52.66	8.864
教育、学習支援業	3,077	1,957	1,420	53.40	8.887	4,464	2,140	1,600	51.48	7.625
医療、福祉	30,515	18,380	13,153	52.78	9.033	69,854	44,495	31,947	52.77	8.049
複合サービス事業	1,371	981	829	55.18	7.918	1,297	1,009	851	54.93	7.669
サービス業（他に分類されないもの）	32,612	22,775	12,365	54.80	9.342	22,581	14,990	7,021	54.44	9.067
公務（他に分類されるものを除く）	87	64	56	61.59	6.344	81	43	43	55.95	6.619
士業		10		51.10	7.325		23		51.26	6.151
合計	302,928	206,807	136,776	53.70	8.896	217,294	134,587	85,422	53.09	8.438

【分析項目】

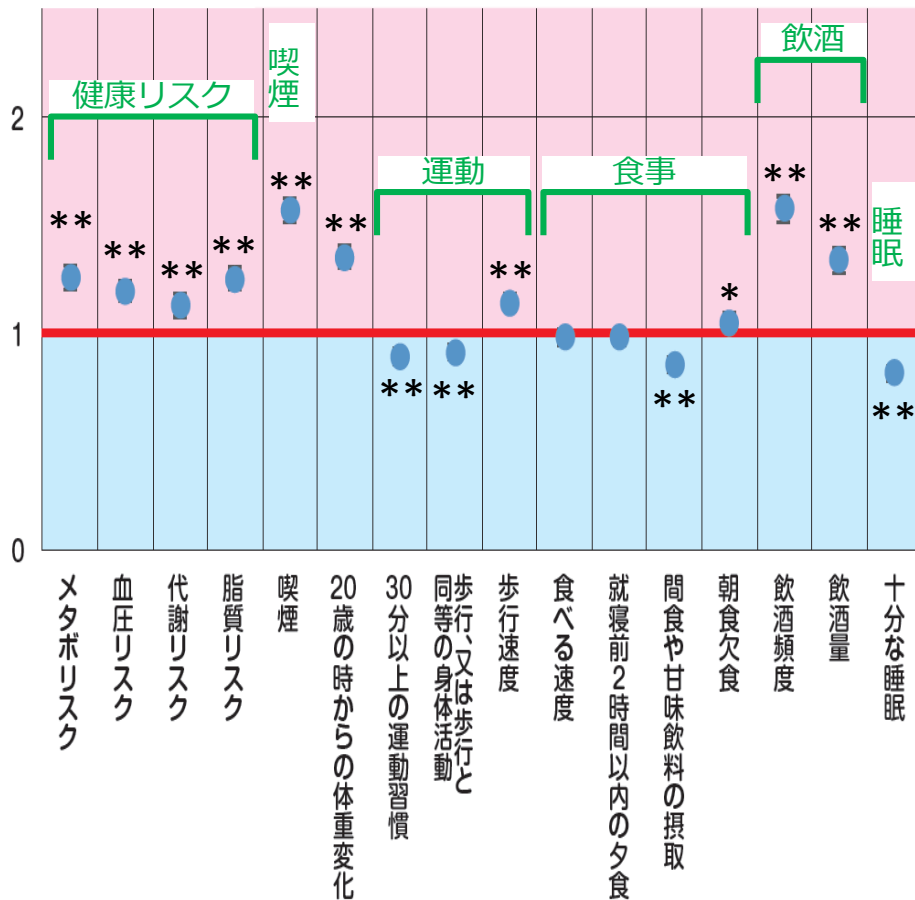
問 診	喫煙	喫煙
	体重	20歳の時からの10kg以上増加している
	運動	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、 1年以上実施していない
		日常生活において歩行又は同等の身体活動を 1日1時間以上実施していない
		ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速くない
	食事	人と比較して食べる速度が速い
		就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある
		朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を毎日摂取している
		朝食を抜くことが週に3回以上ある
	酒	お酒を毎日飲む
		飲酒日の1日当たりの飲酒量が2合以上
	睡眠	睡眠で休養が十分とれていない

疾病分類 コード	疾病分類名
0402	糖尿病
0403	脂質異常症
0901	高血圧性疾患
0902	虚血性心疾患
0904	くも膜下出血
0905	脳内出血
0906	脳梗塞
0907	脳動脈硬化症
0909	動脈硬化症
1402	腎不全

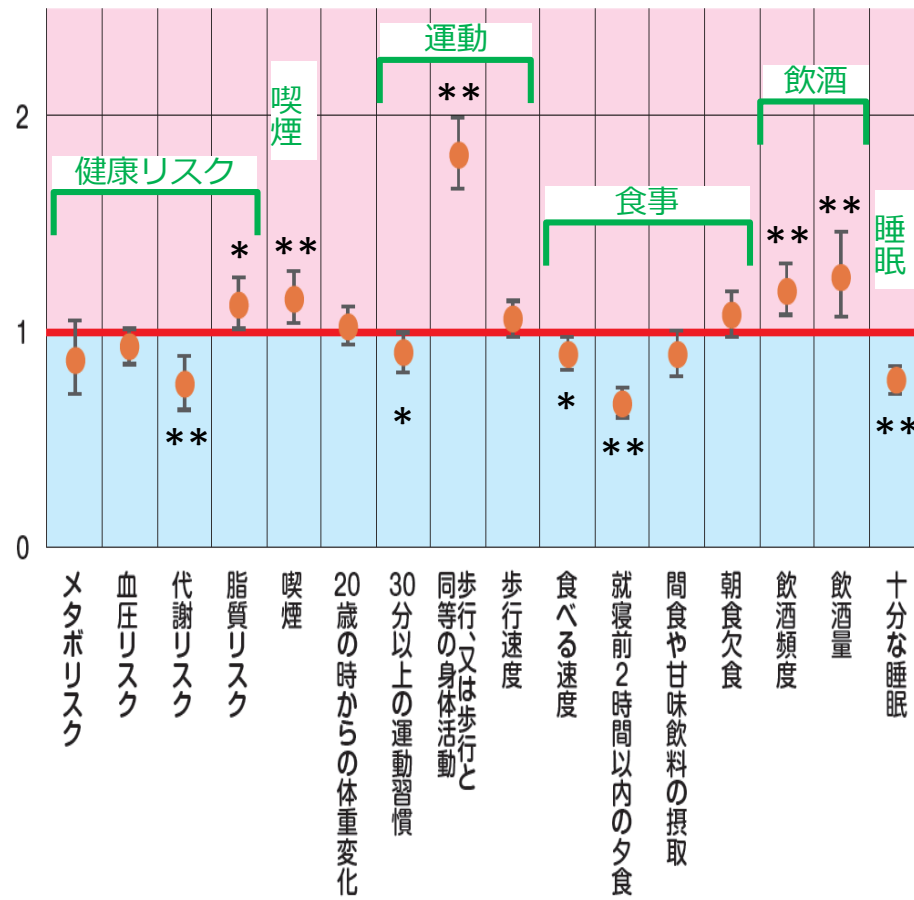
【結果】業態別年齢調整オッズ比

1. 建設業

【男性】



【女性】



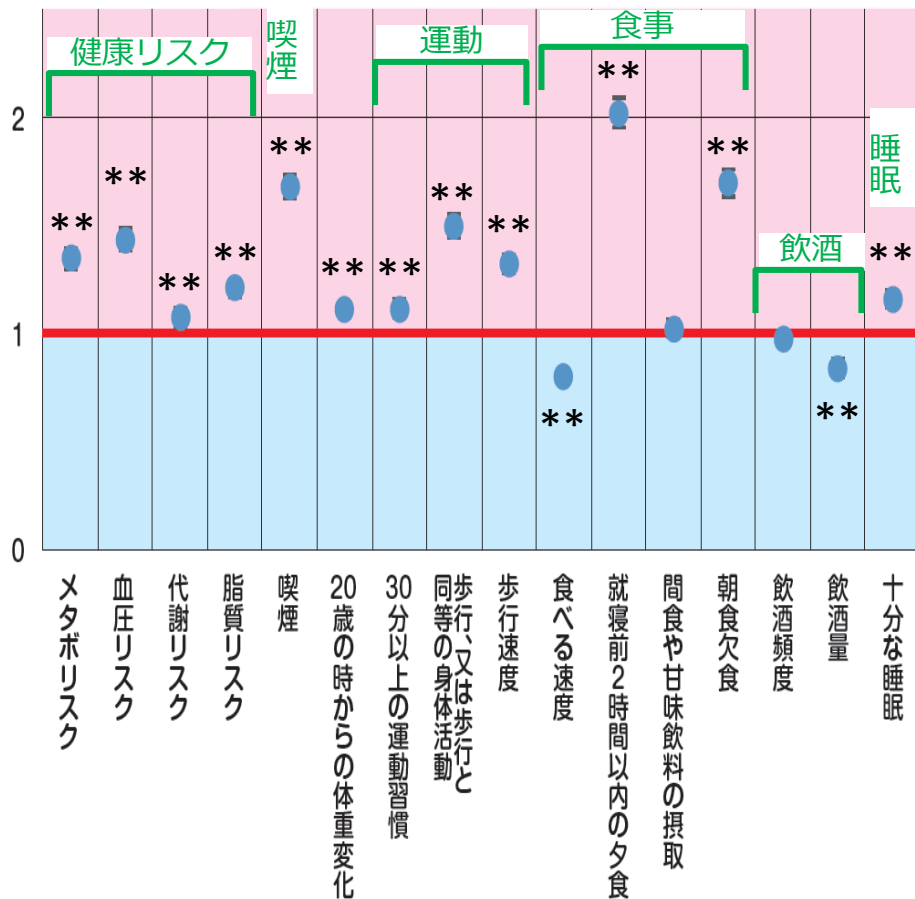
※ ** : $p < 0.01$, * : $p < 0.05$

※全業態の平均と比べて「リスクが高い」、「生活習慣が悪い」が1より上になる。

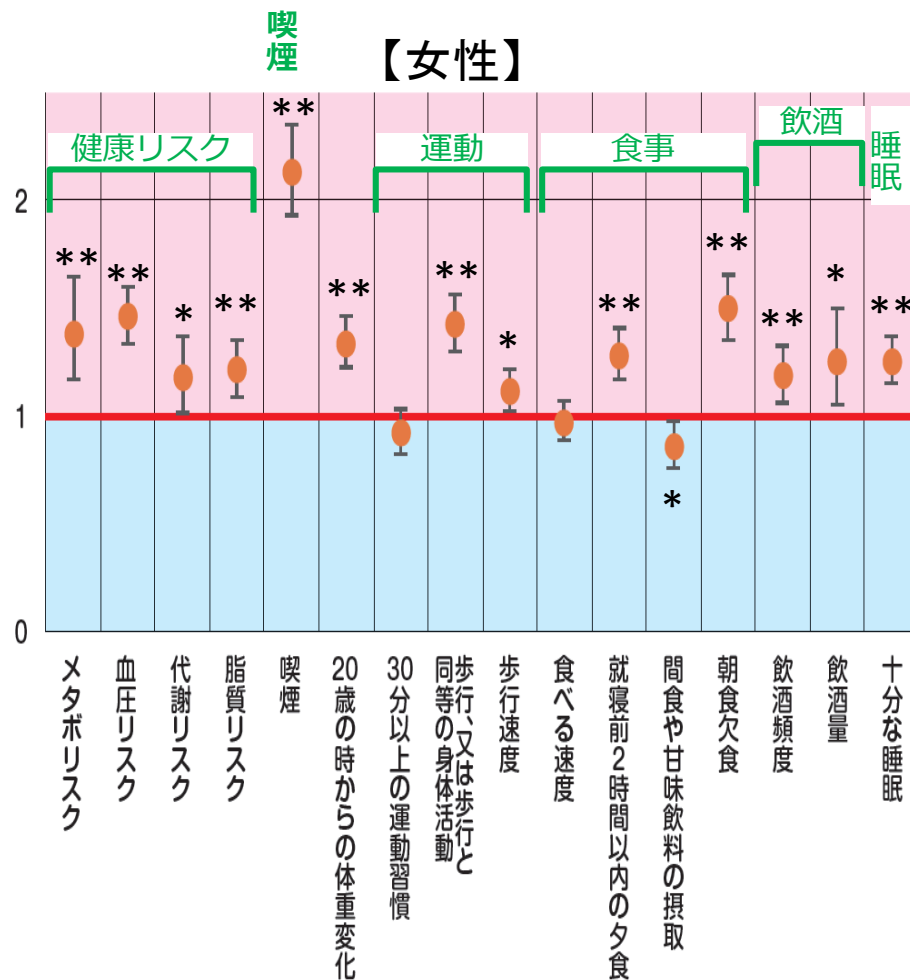
【結果】業態別年齢調整オッズ比

2. 運輸業・郵便業

【男性】



【女性】



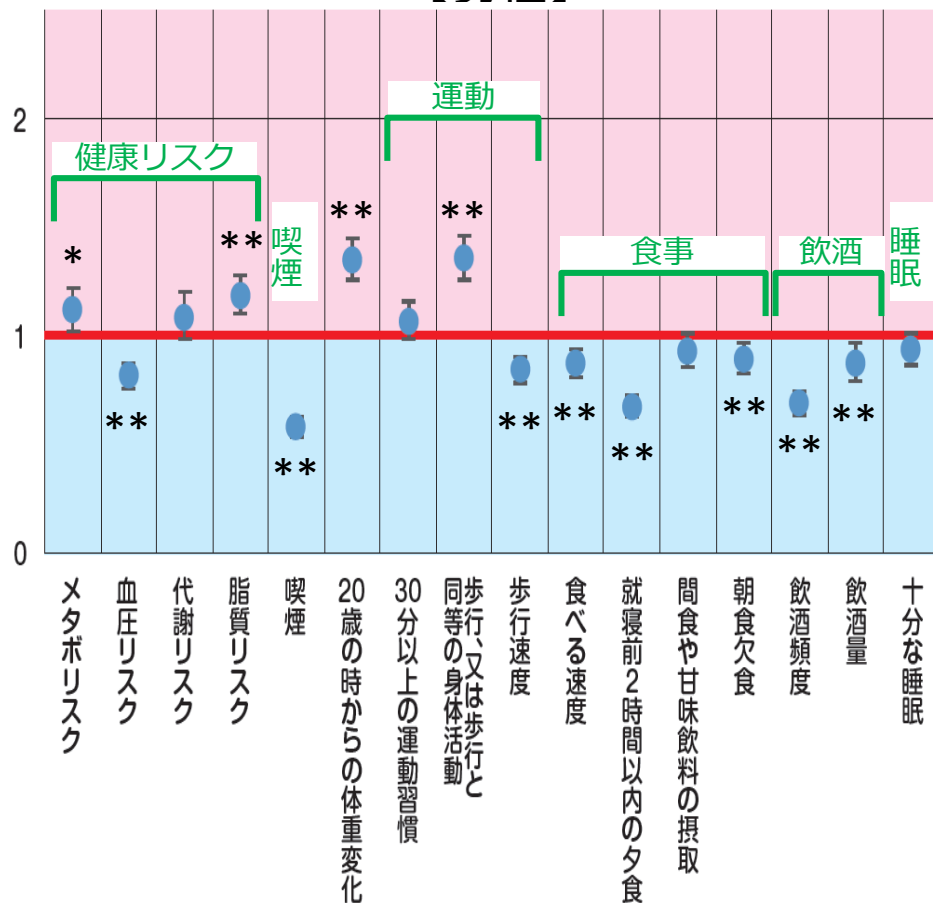
※ ** : $p < 0.01$, * : $p < 0.05$

※全業態の平均と比べて「リスクが高い」、「生活習慣が悪い」が1より上になる。

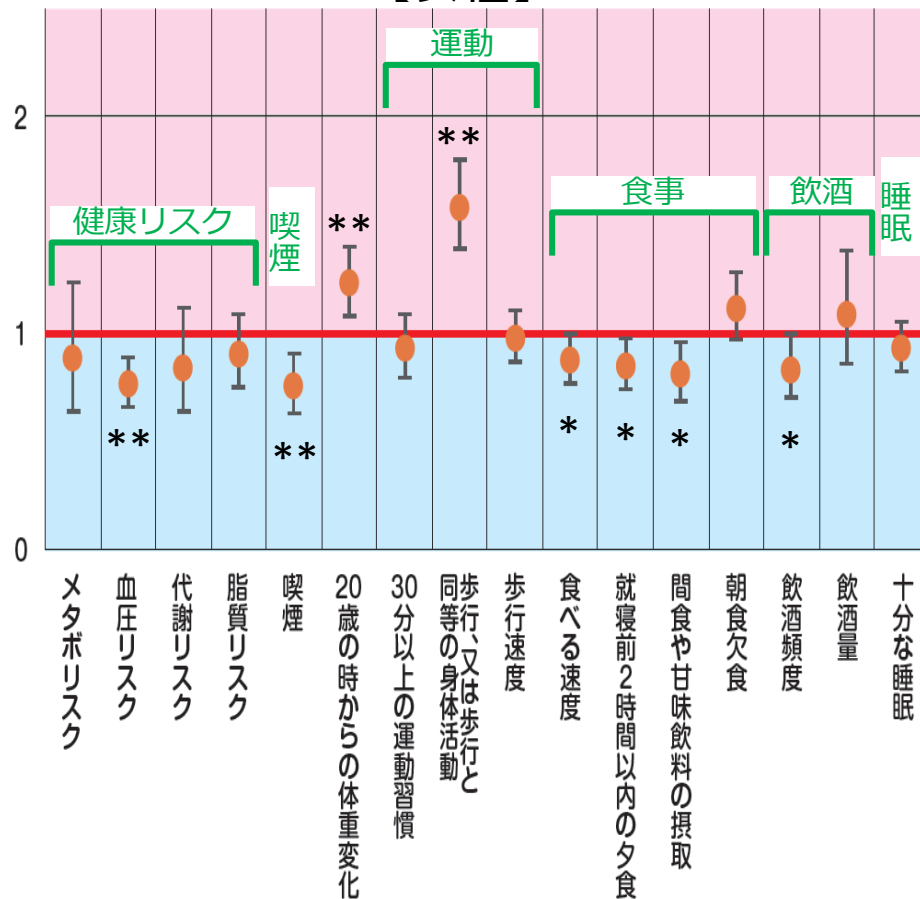
【結果】業態別年齢調整オッズ比

3. 情報通信業

【男性】



【女性】



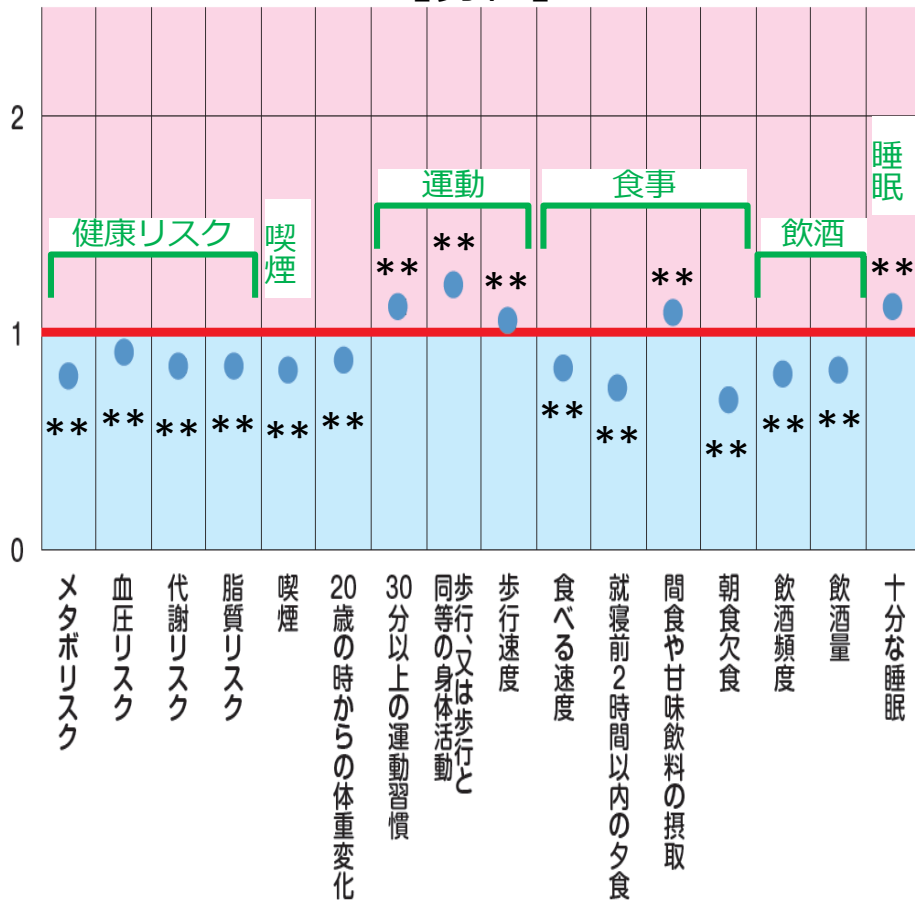
※ ** : $p < 0.01$, * : $p < 0.05$

※全業態の平均と比べて「リスクが高い」、「生活習慣が悪い」が1より上になる。

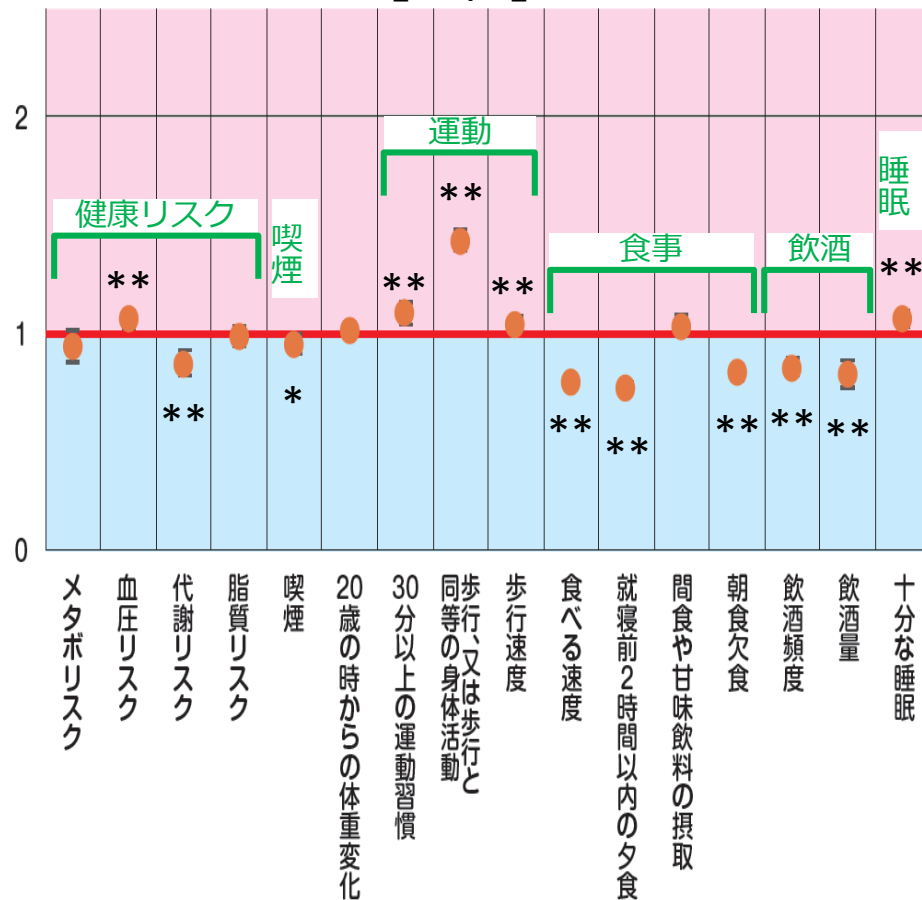
【結果】業態別年齢調整オッズ比

4. 製造業

【男性】



【女性】



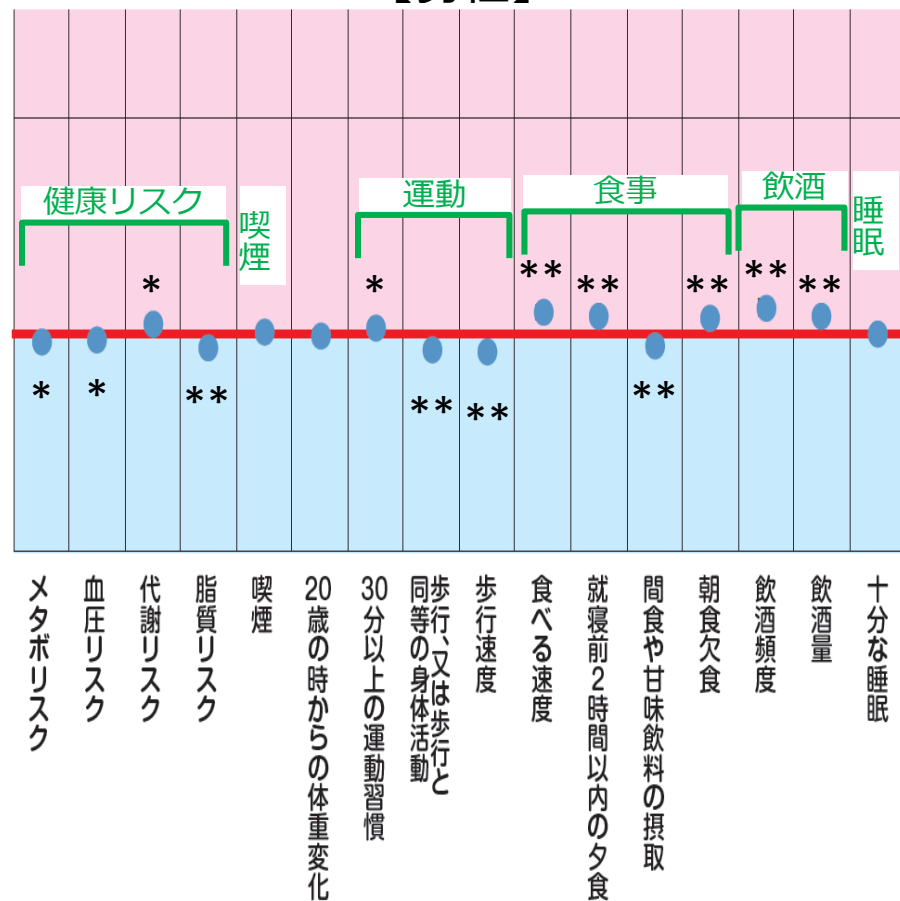
※ ** : $p < 0.01$, * : $p < 0.05$

※全業態の平均と比べて「リスクが高い」、「生活習慣が悪い」が1より上になる。

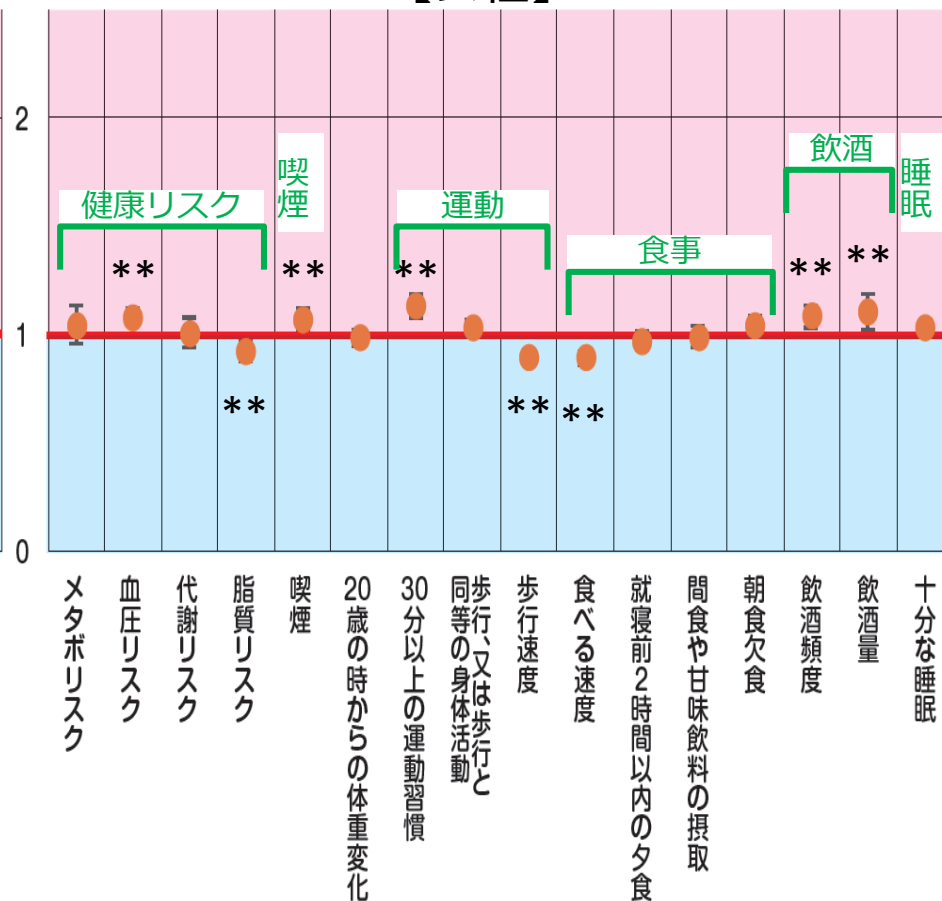
【結果】業態別年齢調整オッズ比

5. 卸売業・小売業

【男性】



【女性】

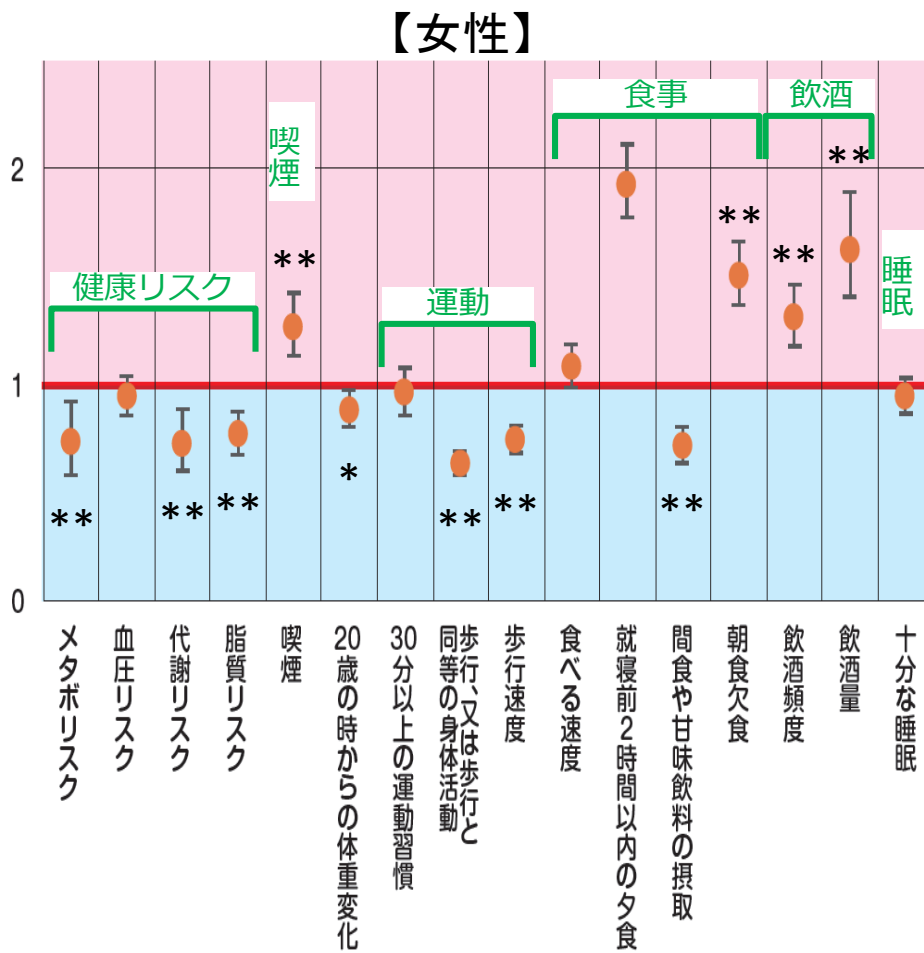
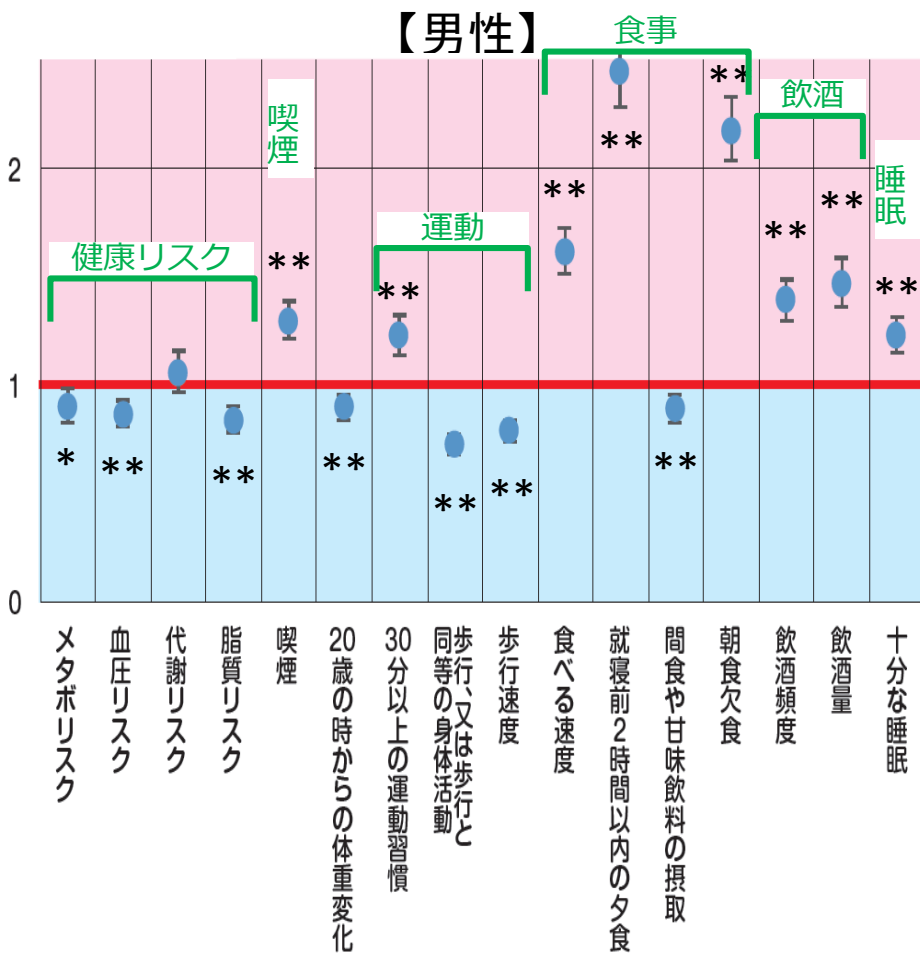


※ ** : $p < 0.01$, * : $p < 0.05$

※全業態の平均と比べて「リスクが高い」、「生活習慣が悪い」が1より上になる。

【結果】業態別年齢調整オッズ比

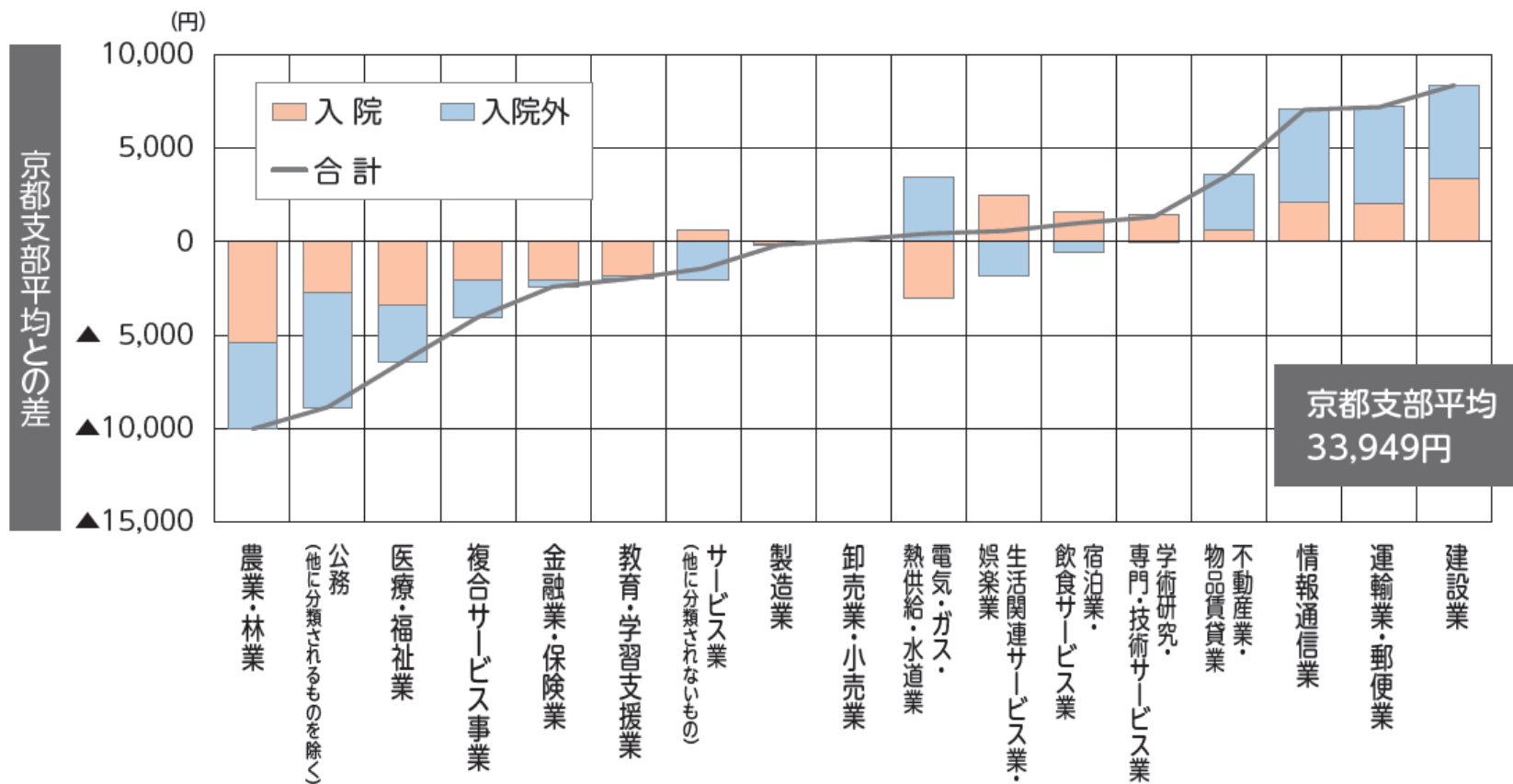
6. 宿泊業・飲食サービス業



※ ** : $p < 0.01$, * : $p < 0.05$

※全業態の平均と比べて「リスクが高い」、「生活習慣が悪い」が1より上になる。

業態別被保険者一人当たり生活習慣病医療費(年齢調整後)(2021年度)



【考察】

- ✓ 業態(働き方)の違いによる健康課題が明らかとなった。健康課題の多い業態として特徴的なのは、**男性の建設業、運輸業**はメタボ関連リスクと喫煙率が高いことは共通していたが、建設業では飲酒習慣が悪く、運輸業では運動習慣、食生活が悪く、**業態(働き方)による生活習慣に違い**があることが示唆された。
- ✓ 協会けんぽ京都支部では、「健康の現在値(いま)を見よう」をコンセプトにした広報プロジェクトを実施しており、今回の結果を活用して、業態(働き方)ごとの健康の現在値を見ていただき、**業態に応じた健康経営の取組を推進**いただけるよう、経済団体や運輸・建設の業界団体等と連携した情報共有、運輸業及び建設業の事業所との座談会、プレスリリース等により広く情報発信を行った。
- ✓ 今後も業態や働き方の違いによる健康課題の分析を進め、さらなる健康経営の推進を目指したい。
- ✓ 協会けんぽの保有データでは、事業所の「業態」は分かるが、従業員の「職種」までは分からないことは分析の限界である。

【参考】協会けんぽ京都支部 広報活動のご紹介

京都働き世代の健康データブック(R6.3)

京都働き世代の 健康データブック

こころとからだのサステナビリティ

全国健康保険協会 京都支部
協会けんぽ



建設会社との座談会記事(R5.12)

全国健康保険協会 京都支部

三

建設業界×協会けんぽ

「健康事業所宣言」が
もたらす企業価値の向上

現場仕事に従事する方が多く、自身の健康の確保が前提となりがちな建設業界。

今回は、その建設業界において、いち早く健康経営に取り組まれている大和電設工業株式会社と雅登建設株式会社の担当者の方から、協会けんぽ京都支部の広報担当がさまざまなお話をうかがいました。



大和電設工業株式会社 総務部 佐々木雅夫さん(写真左)
雅登建設株式会社 総務部 中江和子さん(写真中央)

タクシー業界の健康課題分析(R5.8)

タクシー・ハイヤー業界の健康課題

タクシー会社で働く男性労働者のメタボリスクは1.3倍

京都府内の男性労働者(被保険者) 150,616人のうちタクシー会社勤務の男性5,153人の令和4年度健診データを調査



年齢調整サイズ比
※令和4年 協会けんぽ健診データ

良い生活習慣

- ・早食い -17%
- ・夜間間食 -13%
- ・飲酒習慣 -35%
- ・飲み過ぎ -50%
- ・睡眠不十分 -8%

悪い生活習慣

- ・喫煙 +43%
- ・寝る前の食事 +140%
- ・朝食欠食 +53%
- ・体重増加 +10%
- ・血圧リスク +18%
- ・脂質リスク +32%
- ・メタボリスク +32%
- ・糖尿リスク +11%
- ・運動不足 +61%
- ・歩行不足 +156%
- ・歩行速度低下 +22%

※京都府内の男性被保険者を100%とする



医学博士
坂根直樹

翌日の仕事に合わせた良い習慣と悪い習慣があり、「禁煙」「運動不足解消」「寝る前の食事を考える」ことで、健康に、安全に、仕事ができます

タクシー会社との座談会記事(R5.8)

全国健康保険協会 京都支部
協会けんぽ

三

コラボヘルス タクシー・ハイヤー業界

「最近、どう？」
命を運ぶドライバーへの健康キーワード。
京都の足となるタクシー業界では、
「健康改革」が始まっています。

コロナ禍が落ち着き、京都にはにぎわいが戻ってきました。観光需要も復調し、タクシー業界は大忙しです。しかし、その反面、タクシーやバスなどのドライバーが業務中に体調不良となり、事故などを起こすケースが増えているとのこと。また、ドライバーは職業病、長時間の座り、運動不足、水分補給が少ないことから生じる健康課題が多いという話も。命を運ぶタクシー業務にとって、ドライバーの健康課題の解消は必須となっています。タクシー業界の中で、これらの問題に気づき、いち早く健康経営に取り組んでいる宇治第一交通株式会社と山城ヤサカ交通株式会社のお話を、協会けんぽ京都支部の広報担当者が、保健師と管理栄養士と一緒に伺いました。



宇治第一交通株式会社 宇治営業所 副所長 上田利幸さん(写真左、以下、上田)
山城ヤサカ交通株式会社 総務部 広報担当 長瀬 朝倉さん(写真右、以下、朝倉)

あなたの健康に大事なこと。
定期的に健康を確認すること。

健康の現在値(いま)、見えていますか？

